

平成29年第6回12月定例会

平成29年第6回12月定例会は、12月5日に開会し、会期18日間をもって12月22日に閉会しました。

この間、市長提出の議案29件及び報告1件を審議し、定例会最終日の12月22日には、議案などの採決を行いました。

12月定例会では、12月11日から12月13日までの3日間、議員21名が議案質疑と一般質問を行いました。発言の要旨は、会派別に項目を整理し、2ページから9ページにかけて掲載しています。

自民クラブ

堀江 幸二 議員



- (一般質問)
- 1 歴史文化の保全・活用について
 - 2 市の花、鳥、木の制定について
 - 3 公共下水道事業について
 - 4 小松地区の市街地における雨水対策について

歴史文化の保全に向けた新たな資料館の整備を！

問

本市は、西条藩や小松藩の藩主であった一柳家をはじめ多くの偉人を輩出している。歴史文化の保存や郷土の偉人の顕彰、更には観光資源としての活用などに資するため、貴重な歴史的資料

を保存・展示する新たな資料館の整備が必要と思うが、どのように考えているのか。

答

後世に伝えるべき貴重な歴史文化遺産を保存・展示する施設は必要であると認識しているが、既存施設では収蔵スペースが限られているため、施設の一部改修や有効活用を検討し、貴重な資料を保管・展示できる施設となるよう検討していきたい。

伊藤 新平 議員



- (一般質問)
- 1 学校法人松山大学での市長講義について
 - 2 道路整備について

セーボーデン市との都市間交流の展開は？

問

市長が講師を務めた松山大学の「自治体リレ

ー講義」において、オーストリア共和国セーボーデン市との友好都市提携について言及しているが、今後、どのように展開していくつもりなのか。

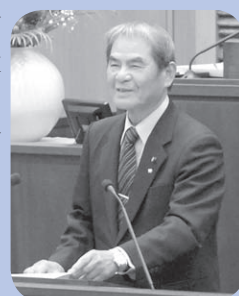
答

オーストリア共和国セーボーデン市を訪問した際、約80名の関係者を前に西条市をPRさせていただき、クリナー市長には、さまざまな機会を作っていたいただき、同市との交流を深めるきっかけができた。また、両市の関係を更に深めるため、クリナー市長から来春には来西したい旨の発言もあった。都市間交流は、すぐにできるわけではないので、時間をかけてお互いに意見交換しながら、深いつながりにしていきたい。



セーボーデン市での交流の様子

西坂 壽 議員



- (一般質問)
- 1 市営住宅の管理運営について
 - 2 スポーツ振興施策について
 - 3 監査制度の充実強化について

市営住宅入居者の不公平感の解消を！

問

市営住宅の入居者に収入超過者や高額所得者がいると聞いており、不公平感が生まれているが、どのように対応しているのか。
また、高齢者世帯が3DKの間取りに住んでいる一方で、大人数の家族が2DKの間取りに住んでいるなど、住宅規模と住居状態にミスマッチが起こっている状況にあるが、どのように解消を図っているのか。